



写真やイラストも
お待ちしております



やまだ文芸広場

- ・鮭^{さけ}鱒^{なまこ}が 不漁であわびに片思い 佐藤 兼男（荒川・88）
- ・ささやかな事でもすぐに涙ぐむ 君と別れてからの私は 啄木^{たくもく}の歌のみ胸^{なみ}に浮かび来ぬ 自分^{おれ}の歌は津波^{なみ}に流さる P・N 沢まさ子（山田・？）
- ・平和ボケ なにが悪かる死の朝まで ばけていたときぞ昭和の生まれ 葉を落とし 冬芽で春を待つ樹木 我だけ急情^{きせき}でいいわけがない 内館 洋一（飯岡・72）

みんなの スペース

◆あて先・問い合わせ
〒028-1392（住所不要）
山田町役場総務課情報係
（☎82-3111内線417）へ。



元旦（一月一日）



読者の皆さま、明けましておめでとうございます。

一年の計は元旦にありと、昔の著名人の有名な句があります。そして千里の道も一歩からとの歌もあります。

何事においても、物事の始まりは一からが基本との教えの正しい事は、いまだに私が説くこともないでしょう。

あえて言うことは、除夜の鐘を一年の始まりとして、行く年に感謝をし、来る年に夢と希望を願いながら、日本列島の最東端の国立公園・三陸海岸の中心に位置する本町の四十八坂から眺める雄大な太平洋の水平線。そしてここに浮かぶ太陽のご来光を日本列島のどこよりも、誰よりも早くご拝礼することがで

きるのです。

健康的な自然の光景から、伝統ある神社やお寺にお参りをし、一年の家の安全と交通安全などを祈願します。元朝参りを済ませ、帰宅、疫病を祓った歳縄（しめ縄）、門松をくぐって一年の啓の始まったことを、氏神様に報告。おせちのごちそうを頂きながら、家族団らんのひと時に新年を実感することでしょう。

西館 隆（船越・82）

「心ひとつに」 学習発表会

秋も深まる10月31日、学習発表会の催しがありました。校庭内の仮設に住んでいるので、楽しみに出掛けました。

校長先生のあいさつ、学年別の演劇、それに「金管バンドコンサート」の演奏など、一人一人が主役になりきって、純粋で震災を乗り越えて希望に満ちている児童たちに、あっぱれと思

い大きい拍手を送りました。

私たちの存在の小さいこと...。ある時はホールから、教室から、野外での演奏に立ち止まり、応援歌かなあと、独り決めて癒されてきましたし、校内から児童たちの声が聞こえてくるとほほ笑ましいです。また、昭和40年代は高度成長で、小学校においては子供会、育成会が発足

し、活動も盛んでした。「PTAの歌」母と女教師の会も活発でした。

ことは、織笠小学校創立百四十周年記念行事、春は大運動会、秋は学習発表会に、40年代を回想しながら、さわやかな「PTAの歌」を賛助出演させていただき、80代の長老たちが幸せを感じています。

校長先生や諸先生方、児童たちも、百四十周年記念に巡り合い、心に残るページですね。おめでとうございました。

ちなみに唱歌「故郷」に「志を果たしていつの日にか帰らむ」とあります。志は果たせなかったですが、古里は私の源です。

「仰げば尊し」には、「身を立て名をあげやよ励めよ」とも。思いは果たせませんが、ご時世が変わっても忘れられない名曲ですね。

菊地 サカエ（織笠・80）

